

第4回揮発性有機化合物(VOC)排出インベントリ検討会 議事要旨

1. 日時 平成 19 年 3 月 9 日(金) 10:00~12:30

2. 場所 笹川記念会館 鳳凰の間

3. 議題

- (1) 改定インベントリで対象とする発生源(最終版)について
- (2) VOC 排出インベントリ検討会報告書(案)について
- (3) VOC 排出インベントリの検証(案)について
- (4) 今後の日程について

4. 出席者

委員:浦野委員長、指宿委員、神成委員、桐明委員、柴田委員、高戸委員、高橋委員、
南齋委員、西村委員、野中委員、長谷川委員、保坂委員、油井委員

オブザーバー:海野氏(日本クリーニング環境保全センター)

環境省:松井大気環境課長、木田大気環境課長補佐、野沢大気環境課長補佐

事務局:社団法人 環境情報科学センター

5. 議事内容

○ 事務局より、改訂インベントリで対象とする発生源(最終版)について説明があり、議論が行われた。主な検討結果は以下のとおり。

- ・ 燃料の燃焼について、推計対象とするべきであるという意見と、推計対象としないという意見があったが、本検討会では、参考値として示し継続的に調査を行って報告することとした。
- ・ 自然発生源について、排出量の推計が必要であるという意見と、信頼性の高い推計値が得られないため参考となる文献を示すという意見があったが、本検討会では、自然発生源に係る VOC 排出量に関する資料を、参考文献として報告することとした。

○ 事務局より、VOC 排出インベントリ検討会報告書(案)について説明があり、議論が行われた。主な検討結果は以下のとおり。

- ・ インベントリ全体として、VOC 排出量が平成 12 年度から平成 17 年度へ大きく減少したが、変動が大きかった発生源については、その理由を報告書に盛り込むこととした。
- ・ 発生源品目別から、物質別、業種別に分け方が分かりにくいので、具体的な方法の説明を加えることとした。
- ・ 「不明分」に係る VOC 排出量を発生源品目に割り振るべきであるという意見と、「不明分」のまま報告するべきであるという意見があったが、本検討会では、不明分として排出量を示すこととして、今後その排出実態について追究していくこととした。
- ・ 「不明分」について、大気排出率を 100%ではなく、各発生源品目の排出量重み付け平均の大気排出率を適用することとした。

- ・ 自動車新車における塗料の使用に係る VOC の大気排出率については、自動車の車体や部品の塗装に係る排出実態を反映した社団法人日本塗料工業会の調査結果を採用することとした。
- 事務局より、VOC 排出インベントリの検証(案)について説明があり、議論が行われた。主な検討結果は以下のとおり。
- ・ 印刷インキ(グラビア、平版)の使用に係る VOC の大気排出率について、東京都の調査結果は一部地域における調査結果のため、社団法人印刷産業連合会が会員以外を含めた大気排出率について追加調査を行ったうえで、これを採用することとした。
- 環境省より、今後の日程について説明があった。
- ・ 3月19日には、VOC 排出抑制専門委員会があり、本検討会の報告書(案)の修正がありうるが、その場合は、委員長および事務局で修正案の検討をし、本検討会の委員に対し修正案を送付する。各委員の確認を得た上で、最終報告書とすることとした。

<配付資料>

議事次第

揮発性有機化合物(VOC)排出インベントリ検討会 委員名簿

第4回 揮発性有機化合物(VOC)排出インベントリ検討会 配席表

資料1 第3回揮発性有機化合物(VOC)排出インベントリ検討会 議事要旨

資料2 改訂インベントリで対象とする発生源(最終案)

資料3 揮発性有機化合物(VOC)排出インベントリについて【検討会報告書】(案)

資料3別添 揮発性有機化合物(VOC)排出インベントリ(平成12年度及び平成17年度排出量)(平成19年3月 環境省 水・大気環境局について【検討会報告書】(案))

資料4 揮発性有機化合物(VOC)排出インベントリの検証(案)

参考資料1 平成12年度及び平成17年度 揮発性有機化合物(VOC)排出インベントリ調査の概要

参考資料2 有機溶剤の国内出荷に係る調査の結果

以上